



特集

- 第 51 回 経營業務実態調査結果 解説（後編）

TOPICS

- 申込受付開始！ JMRA アニュアル・カンファレンス 2026
基調講演に青山学院大学・原 晋 監督の登壇が決定
- 開催報告：AI 活用・情報交流会（2026 年 7 月度・第 12 回）

Vol.106

2026/8/18 配信

お盆休みが明け、夏も折り返しを迎える頃となりました。今年も全国的に厳しい暑さが続き、7月下旬から8月にかけては各地で猛暑日が相次ぐなど、気候変動の影響を身近に感じる夏となっています。

一方、ビジネスの世界では生成 AI の活用が急速に広がり、AI エージェントを業務に組み込む企業も増えるなど、「AI を使う」から「AI と協働する」時代へと移りつつあります。しかし、どれほど技術が進化しても、その先にいる生活者の価値観や行動を深く理解することの重要性は変わりません。変化の激しい時代だからこそ、データを通じて生活者の「いま」を読み解くマーケティング・リサーチの役割は、ますます大きくなっています。今月号も、JMRA の取り組みとともに最新の業界情報をお届けします。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)



第 51 回 経営業務実態調査結果 解説（後編）

インサイト産業全体は前年比 105.0%、成長を維持 — 課題は世界と同時進行

JMRA 第 51 回経営業務実態調査結果報告の続編です。

引き続き、Esomar が提唱する 8 セグメントへの拡大推計を行なった結果、日本のインサイト産業全体の市場規模は 5,038 億円と見積もられました。これは従来型調査市場セグメントの 1.82 倍、前年比 105.0%となります。

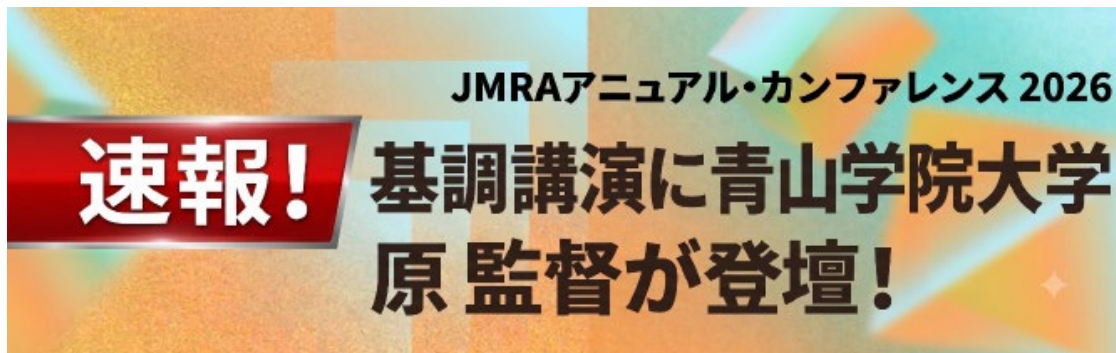
従来型市場調査セグメント（2,775 億円）の前年比は名目で 101.8%、実質では 98.6%（1.4%減）でしたので、8 セグメント計ではインフレ率を飲み込んでなお成長を維持したといえますが、市場の勢いにはやや「足踏み」感がうかがえます。

Esomar の国際統計『Global Market Research (GMR) 2026』の公表は 9 月になる見込みですが、同じ元データを用いた『Esomar Top Insight Companies 2026』が（暫定推計として）先行発表されました。

主要なポイントとして、1) 世界市場は引き続き「リサーチソフトウェア」分野が牽引していること、2) パネル品質問題と AI 対応が避けて通れない課題となっていることが指摘されています。

日本市場全体の課題も、世界の潮流と軌を一にしているものと考えられます。

[詳しくはこちら](#)



申込受付開始！ JMRA アニュアル・カンファレンス 2026

基調講演に青山学院大学・原 晋 監督の登壇が決定

2026 年 10 月 22 日（木）開催「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」の参加申し込みを開始いたしました。

本年度は、「OPEN INSIGHT ― 人と AI がひらく、情報価値の最大化 ―」をテーマに、人×AI による新たな価値創出を探り、リサーチをより身近で実践的なものへと広げていくセッションをお届けします。

基調講演には、青山学院大学 教授 陸上競技部長距離ブロック監督 原 晋氏の登壇が決定いたしました。JMRA 理事の高橋隼人とともに、情報価値最大化をもたらす「人とデータと組織」のあり方についてお話しいたします。

その他、テーマに沿った最新セッションを多数ご用意しております。

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお申し込みください。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告：AI 活用・情報交流会

(2026 年 7 月度・第 12 回)

2026年7月9日、インターネット調査品質委員会の主催による第12回の「AI活用・情報交流会」が開催されました。

今回の情報交流会では、株式会社インテージの二瓶氏より ESOMAR APAC 2026 の参加・発表報告、株式会社日経リサーチの太田氏より AI エージェントを活用したリサーチ業務の最新動向、Opensurvey 株式会社様より AI リサーチプラットフォーム「Dataspace」をご紹介いただきました。

今後 AI が調査の企画、設計、分析、報告までを担う可能性がある中で、リサーチャーには、正しい問いを立て、AI の出力を見極め、意思決定へつなげる役割が一層求められています。同時に、AI の基盤となる人間由来のデータと回答者の体験を守る重要性についても議論が交わされました。

今後もリサーチャー同士の有用な情報交流の場として、定期的を開催していきますので、次回以降もご期待ください。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



「中小受託取引適正化法（取適法）」の遵守について

昨今の急激な物価上昇の影響により、当業界においてもコスト増への対応としてクライアント、二次委託先との価格交渉の重要性がより増していると言えます。

そうした中、2026年1月1日、「下請法」が改正され、「中小受託取引適正化法（通称：取適法）」として新たに施行されました。「取適法」では「協議に応じない一方的な代金決定」が禁止されており、従来の「下請法」よりも価格交渉の実効性が大幅に強化され、発注者・受注者双方に具体的な行動が求められるようになりました。

これを受けて、JMRA では、会員社及びクライアントに対する注意喚起とお願いを公表しました。

[詳しくはこちら \(PDF : 125KB\)](#)

連 載



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●シニアのスマホ利用に関する調査
(2026. 7. 22 (株)ネオマーケティング)
60～75 歳を対象とした、スマホ利用に関する調査レポートです。約 6 割が「使いこなせていない」と感じる一方、8 割はガラケー回帰を望んでいないなど、シニアの生活にスマホが深く定着している実態がわかります。

[詳しくはこちら \(JMRA マーケティングデータ・ストレージ\)](#)

今月の注目調査

●「やりたくない家事」から見えた新たなタイプの価値とは？
(2026. 7. 22 (株)マクロミル)
家事への意識調査レポートです。「やりたくない家事」への嫌悪感や疲労などの負の感情から、生活者がお金を払ってでも回避したい瞬間を特定し、時短商材の新たな訴求ポイントなどを紐解いています。

[詳しくはこちら \(JMRA マーケティングデータ・ストレージ\)](#)

連 載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。



今月の注目記事

- プロも陥る「確証バイアス」を回避して「顧客の本音」を引き出すには？

インタビュー4つのコツ

詳しくはこちら（外部サイト：
MarkeZine）



今月の注目記事

- 消費を煽る「推し活マーケ」はなぜ見限られる？

推し活の新潮流「スキステナブル」を探る

詳しくはこちら（外部サイト：
MarkeZine）

連 載



【新連載】シンギュラリティ観察ネコ日記

第1回：AI とリサーチのセミナー開催するニャ

JMRA に 2026 年度より新設された「教育研修委員会 業務 AI 活用教育部会」（略称：AI 教育部会）より連載日記「シンギュラリティ観察ネコ日記」をお届けします。

本日記では AI への筆者の思いと「AI 教育部会」活動を告知していきます。連載はちょっと無茶にゃ？と思ったりもしますが、言われたことは何かしら返答するのが最近の AI（生成 AI）の流儀、頑張ってます。

第1回の記事では、AI の定義を「コンピュータが自然言語を使えるようになる技術」として生成 AI のトレンドを解説、様々な変化が予測されるマーケティング・リサーチは何を捉え、どう進むべきか——その議論の序章ともなる内容となっています。ぜひご覧ください。

詳しくはこちら

教育講座・セミナー案内



●マーケティング・リサーチ ベーシックコース (秋季)

(本講座は春開講と同内容となります)

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

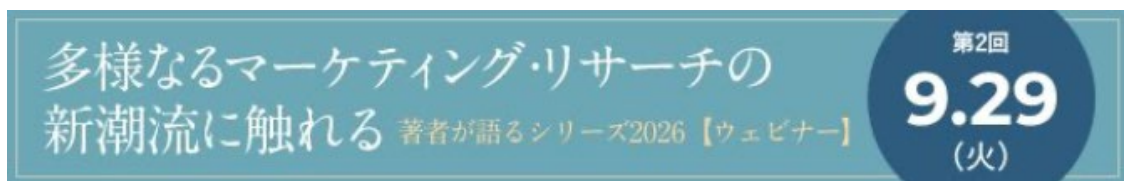
また、定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしております。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間): 2026年9月1日(火) 10:00～10月31日(土) 17:00まで

・会場: オンデマンド+フォローアップ講座

詳しくはこちら



●セミナー委員会主催セミナー: 著者が語るシリーズ 2026

第2回 頭のいいマーケティングリサーチャーの生成AI活用法

～最新技術を実務に活かす～

生成AIを仕事の相棒として使いこなすための実践書です。プロンプト作成、企画・ブレースト、資料作成、データ分析、情報の可視化、プログラミング、GPTs活用まで、具体例を通じて効率化と思考支援のコツを学べる一冊です。

AIと働く時代。初心者にもわかりやすく、人より一歩先いく「AIとの付き合い方・考え方」が身につき、今日から実務へ応用できます。

・日程(ライブ配信): 2026年9月29日(火) 12:00～13:00

- ・会場：Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



●定性調査インタビュースキル養成講座

AI でのインタビューの研究も進んでいますが、まだ、人の内面の深いところに保存されている体験記憶、自分も他人も気付かないインサイトに到達するためには、人間の力が必要です。

本講座は、より精度の高い定性情報を作り出す定性インタビューのスキルを座学と実践で学んでいただくためのものです。

本講座は、初回・2回目をオンラインで、3回目を会場で実施します。

・日程（ミックス講座）：

1 回目：2026 年 10 月 7 日（水）13:00～16:30

2 回目：2026 年 10 月 14 日（水）13:00～16:30

3 回目：2026 年 10 月 21 日（水）又は 28 日（水）10:00～17:00

- ・会場：1、2 回目は Zoom ミーティング、3 回目は JMRA 研修室

詳しくはこちら

お知らせ

●第 11 回 フットサルリサーチカップ開催のご案内（会員社対象）

JMRA 会員有志による恒例の「フットサルリサーチカップ」が、今年も開催されます。第 11 回となる今回は、2026 年 12 月 5 日（土）に、J-SOCIETY FOOTBALL PARK 多摩で実施します。屋内・屋根付きコートのため、天候や冬の寒さを気にせずプレーできるほか、土曜日開催のため、翌日の日程にもゆとりを持ってご参加いただけます。参加費は 1 チーム 1 万 5 千円を予定しており、1 社につき最大 2 チームまでのエントリーも検討されています。

本大会は、フットサルを通じた会員企業間の交流と懇親を目的とした、有志による自主運営の大会です。社内の皆様にお声がけいただき、この機会にぜひご参加ください。

[詳しくはこちら（PDF：116KB）](#)

●日本世論調査協会・鈴木会長「ReHacQ」出演

公益財団法人日本世論調査協会の鈴木督久会長が、YouTube「ReHacQ（リハック）」に出演しました。高橋弘樹氏との対談で、世論調査の調査方法や報道における偏向・誘導をめぐる論点、根本的な課題について、前後編にわたり解説しています。前編「衝撃告白！ 偏向と誘導の実態とは!? 調査方法徹底解説！ 根本的問題点とは？」後編「衝撃告白！ 新聞・メディアは疑え!? 必要なリテラシーは？」前後編あわせてぜひご覧ください。

[詳しくはこちら（外部サイト：世論調査協会）](#)

●9月号は9月15日（火）発行予定です

巻末コラム 小さなオフィスから

個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律が公布され、今後2年以内の施行に向けて動き出しました。個人情報保護委員会が公開したロードマップ（令和8年7月31日時点）によると、施行に向けて関係政令やガイドラインの整備とあわせ、周知広報に積極的に取り組んでいくとのことです。

今回の改正では、AI開発や統計作成における同意取得のあり方なども議論の対象となっていました。

AIの業務浸透も進む中、私たちのように生活者・消費者の信頼を基盤としてデータを扱う産業にとっては、日々の現場知見を業務プロセスとして整え、修正が必要なポイントがあれば整理して現場運用にフィードバックしていくループを回していくことが引き続き重要だと感じます。

改正法の施行までまだ時間はありますが、自分ごととして関連する発信を確認していきたいと思います。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は以下よりお願いいたします。

https://y.bmd.jp/bm/p/f/s.php?id=jmra_mm1130&mail=aso%40jmra-net.or.jp&no=377724

※JMRA セミナーを受講中の方、JMRA の会員窓口ご担当者様、委員会等に参画されている方が本機能により配信停止を行った場合、セミナーや委員会等に関するご案内も併せて停止されます。メルマガ以外のご案内を引き続きご希望の場合は、以下の配信元アドレスまでご連絡ください。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川L Kビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。